

株式会社桃園クリエーション販売の重箱が「2014年度 グッドデザイン賞」を受賞

株式会社桃園クリエーション(本社：東京都中野区、代表取締役：山尾 真生、以下桃園クリエーション)は、同社が運営する OJIGI TOKYO (おじぎ とうきょう) で販売している漆器の重箱「3.5寸マス重」が、財団法人日本産業デザイン振興会主催の2014年度 グッドデザイン賞を受賞したことをお知らせいたします。

OJIGI TOKYO (<http://www.ojigi.jp/>) は、日本の誇る伝統工芸技術を生産者とは違う視点と IT の技術を活かし、日本のみならず世界中の人に発信することで、地方の産業にフィードバックしたいという思いを持って運営している桃園クリエーションのオリジナルブランドです。

プロデューサーの OJIGI TOKYO ディレクター・大住尚子(桃園クリエーション取締役副社長)はデザイナーの安宅洋二氏(あたかや、福井県鯖江市)と共に、日本の器として、歴史と機能美を備えた重箱を、個々のライフスタイルに日常的に取り入れることを提案。重箱に対する「お手入れや保管が難しそう」、「絵柄が好みでないものが多い」「正月以外必要ない」といったユーザーのネガティブなイメージをクリアすべく、ウレタン塗装を採用し、普通の磁器と同じように家庭用洗剤で洗浄し、保管することを実現。また、「和」のイメージが強すぎる蒔絵などは一切施さず、より現代の食生活やテーブルライフにマッチするシンプルなデザインを採用。使い手の好みやテーブルシーン、季節によって「選ぶたのしさ」を提供する為、多様なカラー展開を用意。また、重箱のベースとなる素地においても、既存の abs 素地ではなく、木製素地を使用することにより、蓋の裏面、重箱の底面、厚みなどに木質素地ならではの品を持たせたとしています。

株式会社桃園クリエーション販売の重箱は、グッドデザイン賞の審査委員会より、「漆器の重箱という伝統的な道具を、今日の生活に違和感なく取り入れることを可能とする魅力的な製品となっている。伝統に固執することなく、技法や機能を現代の視点から見直しており、製造過程にウレタン塗装を取り入れる一方で、木製素地であること重視するなど、明確な思想が感じられるデザインである。カラーラインナップにも現代の生活にふさわしいセンスを感じる。」と、伝統工芸品に現代の食生活やテーブルライフにマッチするデザインを取り入れたとして高い評価をいただき、今回の受賞となりました。



□ 受賞対象：重箱 (OJIGI TOKYO)

□ OJIGI TOKYO HP <http://www.ojigi.jp/products.html>

□株式会社桃園クリエーションについて

石川県・福井県等の職人達が制作する伝統工芸品をECサイト「OJIGI TOKYO」で日本語、英語、中国語で展開。匠の技術を持った職人達と共同で制作から 作品に至るまでの流れを写真、動画等 IT 技術を駆使して、商品のサイト作りを行っています。真摯にもの作りを行う産地やクラフトマンへの関心を高め、産地産業の継続と発展を担う活動を目指しています。また同社は海外でも活躍する料理研究家とコラボし、日本の伝統工芸品と料理を通じてアジアを中心として積極的ビジネス展開を行って参ります。

【桃園クリエーション会社概要】

社名 : 株式会社桃園クリエーション <http://www.ojigi.jp/index.html>

本社所在地 : 〒164-0013 東京都中野区弥生町 2-41-17 TCIC 104

代表取締役 : 山尾 真生

取締役副社長 : 大住 尚子

事業内容 : e コマース、食器の開発、販売。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社桃園クリエーション 担当 大住

TEL:03-5825-9575 FAX:03-5825-9576

E-Mail:info@momozono.co.jp